

研究実施のお知らせ

2022年9月3日 ver.2.0

研究課題名

外傷予後に影響を与える病院到着時の体温と乳酸値との関連

研究の対象となる方

本研究の対象となるのは、日本外傷データバンク（JTDB）に登録されている症例のうち、2016年から2021年12月までの「新データ」の症例で、年齢が15歳以上（日本小児科学会では以前まで14歳以下を小児診療対象としていたため）の症例であること。

研究の目的・意義

低体温と代謝性アシドーシス、血液凝固障害は外傷死の3徴と言われており、外傷死の重要な因子とされています。病院到着時の体温と乳酸値が外傷予後に与える影響とその関連性について、本邦全体での実態は不透明であり、日本外傷データバンク（Japan Trauma Data Bank, JTDB）のデータを利用し、外傷予後に与える影響を後方視的に明らかにすることを目的としています。

研究の方法

JTDBには、各施設が個人を特定できる情報を除外した形で、診療に関するデータがインターネット上で登録されています。登録された患者基本情報（年齢、性別）、外傷原因、外傷分類、受傷機転、搬送経路、受傷日、受傷日時、病院到着日時、搬送時間、CCI、来院時バイタル（体温、血圧、脈拍数、呼吸数、GCS・SpO2など）、体温測定部位、乳酸値、Signs of life、緊急血管造影、受傷後24時間以内の輸血、受傷後24時間以内の輸血量RBC、受傷後24時間以内の輸血量FFP、受傷後24時間以内の輸血量PC、救命救急処置（呼吸・循環）、手術適応（頭部・顔面・頸部・胸部・腹部・四肢・骨盤・脊椎・体表）、初回手術開始日、DC、ISS(AIS 2008)、RTS、TRISS Ps、AIS(各部位)、初診後転送、人工呼吸器管理日数、ICU在室日数、救急部管理日数、病院転帰、Glasgow Outcome Scale、入院日数、AFなどの情報を日本外傷診療研究機構（JTCR）が取りまとめ、島根大学は郵送でJTCRより記録媒体に記録されたデータの提供を受けます。これらの情報から、病院到着時の体温と乳酸値が外傷予後に与える影響とその関連性について検討します。

データの紛失、改ざん、漏えいなどを防ぐために、島根大学へ提供されたデータへのアクセスはIDとパスワードにより適切に管理しています。研究成果は個人が特定

できないような形で発表します。

研究の期間

2022年5月24日～2026年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 渡部広明

既存の情報の提供のみを行う機関

特定非営利活動法人日本外傷診療研究機構

情報の利用停止

日本外傷診療研究機構から提供を受けたデータは個人を識別する情報が削除されたデータですので、情報の利用停止のお申し出に関しては応じかねます。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座／附属病院高度外傷センター 渡部広明

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2757 FAX 0853-20-2753